

2024年1月23日

住友生命保険相互会社

## 住友生命グループの資産運用立国実現に向けた取組みについて

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、資産運用立国実現に向けた取組みを以下のとおり公表します。

### 1. 住友生命グループの経営戦略

住友生命は、「社会公共の福祉に貢献する」という普遍的な使命をサステナビリティの視点から明文化した「サステナビリティ経営方針」<sup>※1</sup>を策定し、**保険事業の根幹である保険金等のお支払いを正確、迅速かつ確実に遂行するため、中長期にわたり安定した資産運用に取り組むことによる「保険事業の健全な運営」**等を掲げております。

同経営方針の実現に向け、2030年に向けたグループの目指す姿として「住友生命グループ Vision2030」を策定し、2030年にありたい姿を「**ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』**」としました。また、それを踏まえ、2023年4月から新3か年計画「**スミセイ中期経営計画 2025**」<sup>※2</sup>を策定し、すべてのステークホルダーにウェルビーイング価値を提供することを目指しています。

こうした当社グループの経営戦略は、政府が発表した「**資産運用立国実現プラン**」の方向性とも合致しています。

※1 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/sustainability/policy.html>

※2 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/about/company/vision/index.html>

### 2. 住友生命グループの取組み

下記の3つの取組みを一層推進することで、すべてのステークホルダーにウェルビーイング価値を提供するとともに、資産運用立国の実現に貢献していきます。

#### a. 商品・サービスの提供

お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えする観点から、商品ラインアップの拡充を進めています。また、ライフプラン等に沿ったコンサルティングを実施し、お客さまに最適な保険をお届けしていきます。

#### **b. 資産運用力向上の取組み**

お客様の資産形成に資する魅力ある商品を提供するため、次の取組みを行ってまいります。

- ① 多様な資産への投資
- ② スチュワードシップ活動の更なる充実
- ③ 人財育成への取組み
- ④ 優秀な新興資産運用会社の開拓

#### **c. 金融リテラシー向上への貢献**

お客様の長期的な資産形成をサポートすべく、企業にお勤めの皆さまや、将来を担う世代といった多くの方々へ、金融リテラシー向上に資する様々なセミナーを提供していきます。

\*資産運用立国実現に向けた取組みの全体像については、次ページ以降をご参照ください。

以上

あなたの未来を強くする



# 住友生命グループの 資産運用立国実現に向けた取組みについて

# 資産運用立国実現に向けた取組み

- ✓ 住友生命グループは、サステナビリティ経営方針において「保険事業の健全な運営と発展を通じて、豊かで明るい健康長寿社会の実現に貢献する」こと、および「保険事業の根幹である保険金等のお支払いを正確、迅速かつ確実に遂行するため、中長期にわたり安定した資産運用に取り組むとともに、健全な財務基盤の確保に努める」ことを掲げています。
- ✓ また、「住友生命グループVision2030」で掲げた「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現に向け、すべてのステークホルダーにウェルビーイング価値を提供することを目指しています。
- ✓ こうした経営戦略は、政府が発表した「資産運用立国実現プラン」の方向性とも合致しています。当社グループは下記の取組みを一層推進することで、資産運用立国の実現に貢献していきます。

## 商品・サービスの提供

- お客様の幅広い資産形成ニーズにお応えする観点から、商品ラインアップの拡充を進めています。また、ライフプラン等に沿ったコンサルティングを実施し、お客様に最適な保険をお届けしていきます。

## 資産運用力向上の取組み

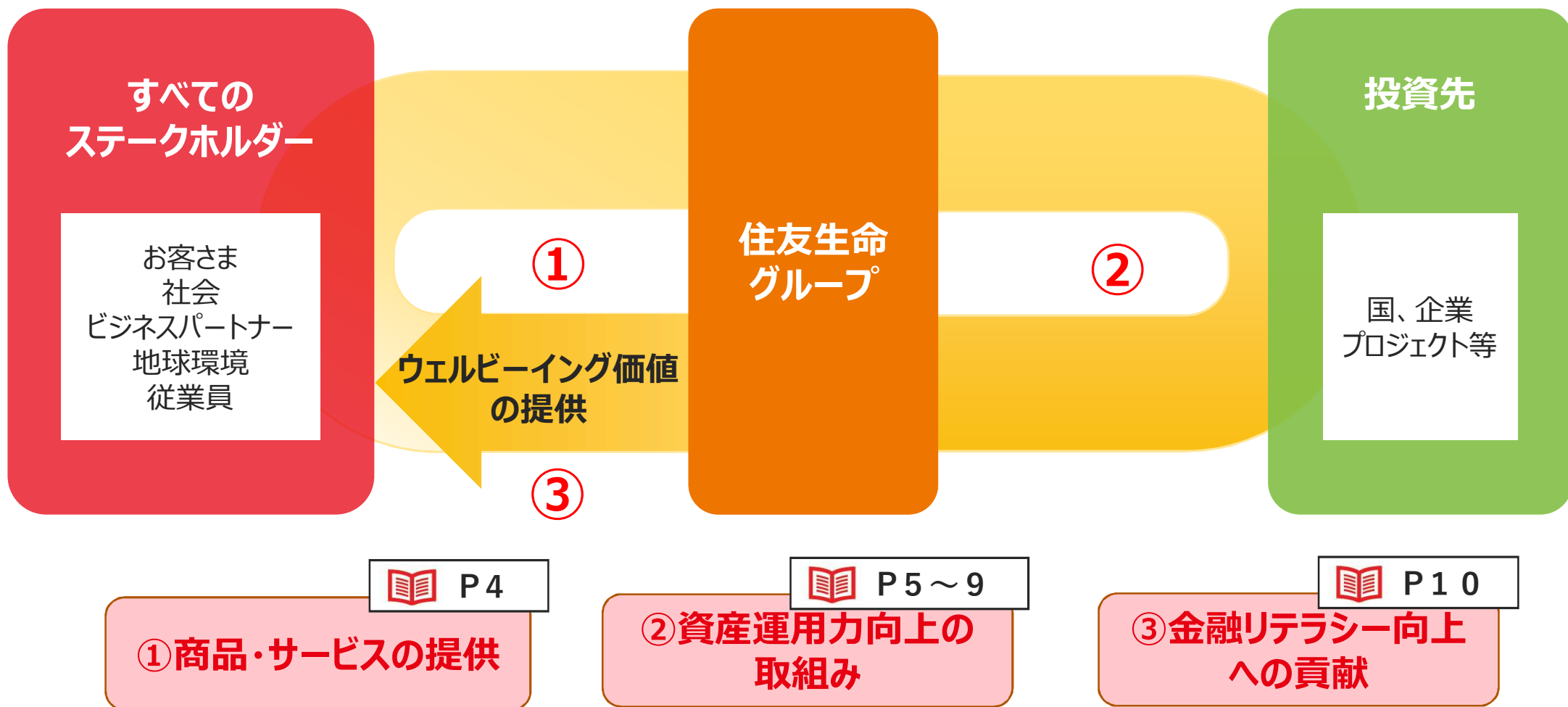
- お客様の資産形成に資する魅力ある商品を提供するため、次の取組みを行っていきます。
  - 収益力向上が期待できる海外資産やプライベートアセットなど多様な資産への投資を拡大するとともに、持続可能な社会実現のための資金需要を投資機会と捉えて責任投資を一層推進していきます。
  - 投融資先企業の中長期的な企業価値向上を目指し、企業との対話（スチュワードシップ活動）の更なる充実を図ります。
  - 戦略的な見地から、人材育成に積極的に取り組みます。
  - 優秀な新興資産運用会社を発掘する枠組みを設定して、開拓に取り組みます。

## 金融リテラシー向上への貢献

- お客様の長期的な資産形成をサポートすべく、企業にお勤めの皆さまや、将来を担う世代といった多くの方々へ、金融リテラシー向上に資する様々なセミナーを提供していきます。

- 前ページに掲げた3つの取組みを推進することによって、インベストメントチェーン上の重要な役割を担い、経済の好循環実現に貢献するとともにすべてのステークホルダーにウェルビーイング価値を提供していきます。

## 経済の好循環実現とウェルビーイング価値の提供



# 商品・サービスの提供

- ▶ お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えする観点から、元本確保型の個人年金など貯蓄性商品や企業向け団体年金保険といった生命保険会社ならではの保険商品を提供しており、ラインアップの拡充を進めています。
- ▶ 営業職員チャンネルにおいては、ご家族構成やライフスタイルにピッタリあった保障額をシミュレーションする「未来診断」を活用し、お客さまに最適な保険をお届けしていきます。
- ▶ 確定給付企業年金（DB）や確定拠出年金（DC）において、法人のお客さまの年金制度のコンサルティングを通じ、資産形成ニーズにお応えする商品をお届けしていきます。



## 個人向け商品

### 一時払保険

【終身】

（円建）



（外貨建）



【年金】

（円建／外貨建）



### 平準払保険

【終身】

（円建）



（外貨建）



【年金】

（円建）



（外貨建）



## 法人向け商品

### 団体年金保険

確定給付企業年金保険【DB】

生命保険一般勘定

～特別勘定～

総合口A 総合口S 総合口M  
投資対象別口（ESG運用 他）  
パッケージプラン 等

確定拠出年金【DC】

- ・スマセイDC年金10年NEO 24年4月発売予定
- ・各種投資信託  
国内株式型、外国株式型、  
バランス型、外国債券型 …等

主な提供商品

# 資産運用力向上の取組み ～ 多様な資産への投資 ～

- ▶ 当社は、お客さまの資産形成に資する魅力ある商品を提供するため、収益力向上とリスク分散の観点から、国内資産のみならず海外資産への投資を拡大し、また、プライベートアセット（非上場資産）への投資も拡大してきました。同時に、収益力向上と社会課題の解決の両立を目指す観点から、責任投資（サステナビリティを考慮した資産運用）を積極的に進めています。
- ▶ 2030年に向けて、一層の収益力向上とリスク分散を推進していくために、当社は、安定的な収益の期待できる資産への投資に加えて、収益力向上が期待できる海外資産やプライベートアセットなど多様な資産への投資を拡大していきます。
- ▶ また、脱炭素社会をはじめ持続可能な社会を実現していくための資金需要を投資機会と捉え、収益力向上と両立させながら責任投資を一層推進していきます。（詳細は、[2023年版責任投資活動報告書](#)をご覧ください）

## 資産運用力向上の取組み

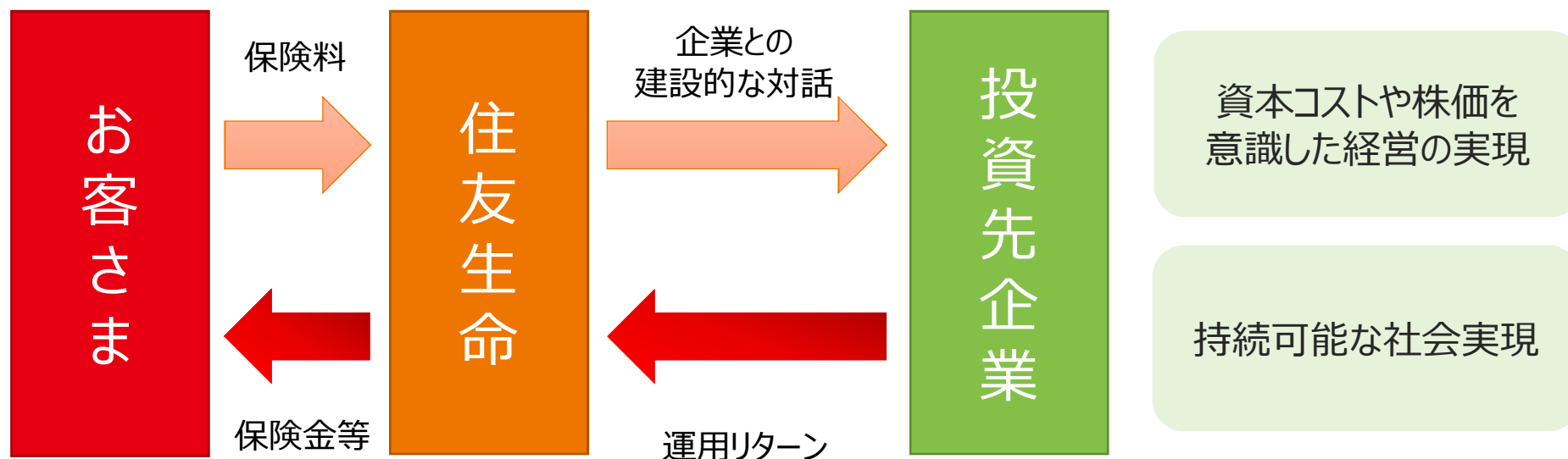


## 2030年に向けた取組み

	これまでの取組み	これからの取組み
<b>海外資産</b>	海外社債の米国シメトラ投資顧問への運用委託・運用チーム派遣、海外クレジット投資	米国株式のポートフォリオ構築・投資拡大
<b>プライベートアセット</b>	インフラエクイティ、プライベートエクイティ、プロジェクトファイナンスへの投資	多様な資産への投資の拡大
<b>責任投資</b>	インテグレーション、ネガティブスクリーニング、エンゲージメント活動、E S Gテーマ型投融資	社会課題解決のためのインパクト創出推進、インパクトの計測・開示の推進

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を推進するための対話や、脱炭素社会をはじめとした持続可能な社会実現に向けた取組みを後押しするための対話を進め、投融資先企業の中長期的な企業価値向上を目指します。
- 対話に際しては、当社単体での対話に加え、他の投資家等と連携する「協働エンゲージメント」を活用しています。

## スチュワードシップ活動（企業との対話）



## 協働エンゲージメント活動（例）



- ✓ 企業とのエンゲージメント活動を通じて、温室効果ガス排出量の削減等を求めるイニシアティブである「ClimateAction100+」を活用
- ✓ 生命保険協会のスチュワードシップ活動ワーキンググループを活用



## 資産運用力向上の取組み ～ 人財育成への取組み① ～

- 「住友生命グループVision2030」に掲げた「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現のためには、資産運用においても、収益力の向上と社会課題の解決への取組みを加速していくことが重要であり、それを担うのは一人ひとりの職員です。
- このため、戦略的な見地から人財育成をする分野を特定し、その分野で必要とされるコンピテンシー向上に向けた取組みを包括的に行っていきます。また、収益力向上を目指し、多様な視点を活用するためのD E & I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）の推進、人の判断を支えるためのビッグ・データや生成A IなどI T技術活用の推進にも取り組んでいきます。

### 長期戦略に基づく人財育成

- 将来を見据えた人財育成
  - ✓ 資産運用専門コース採用
  - ✓ 海外出向（次ページ）
- 人財育成の視点
  - ✓ D E & I の推進
  - ✓ I T 技術活用の推進

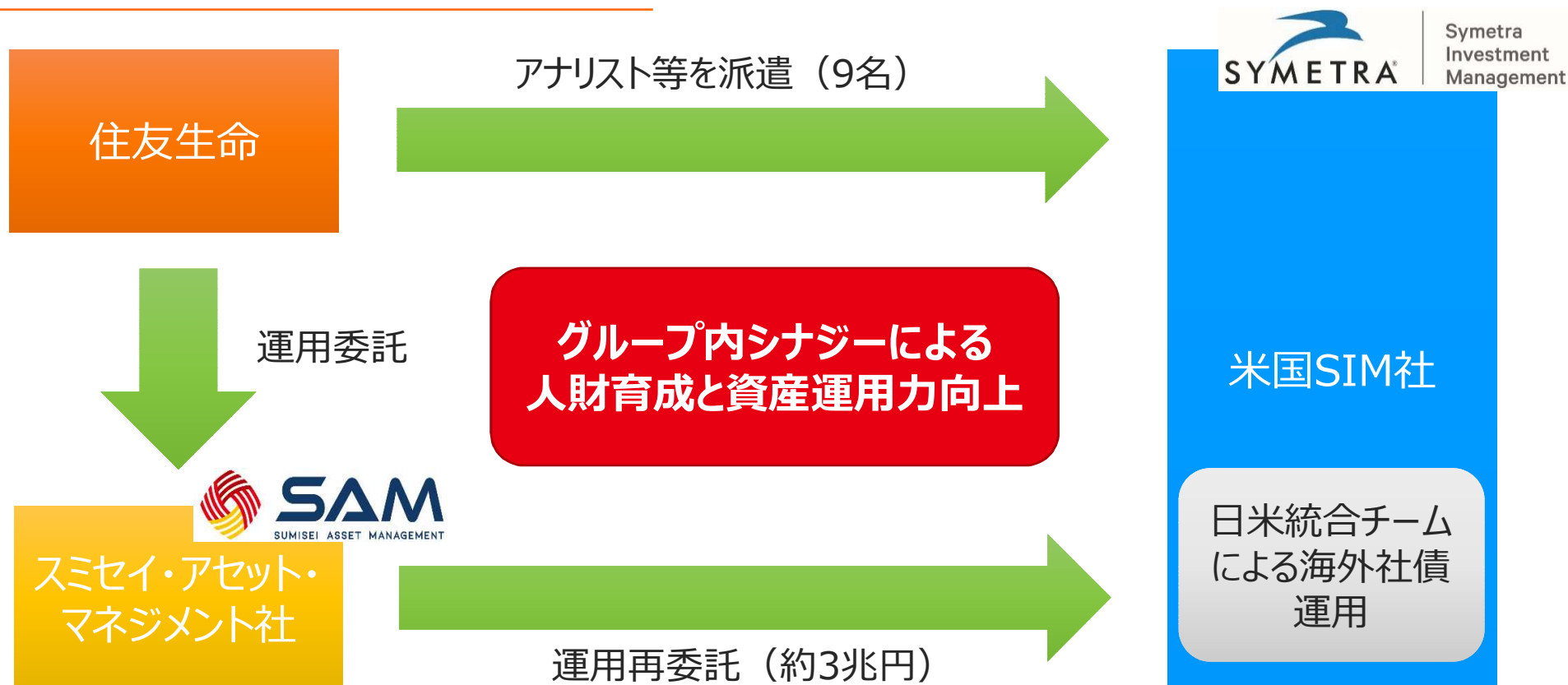
戦略的投資分野  
への人財配置

- 2030年に向けた戦略的投資分野
  - ✓ 海外資産
  - ✓ プライベートアセット
  - ✓ 責任投資

## 資産運用力向上の取組み ～ 人財育成への取組み② ～

- 米国子会社シメトラの資産運用子会社SIM (Symetra Investment Management Company) へ2022年度から海外社債の運用を全面委託するとともに、社債アナリストやポートフォリオマネージャーなど合計9名を派遣しており、経験豊富な現地の運用担当者と日米統合チームを編成して人財育成を行い、個別銘柄の分析能力向上と投資対象銘柄の拡大による運用収益の向上を実現しています。
- また、米国SIM社の運用ケイパビリティを活かして、投資対象資産の拡大にも取り組んでいます。

### SIMへの海外社債運用委託・運用チーム派遣



## 資産運用力向上の取組み ～ 優秀な新興資産運用会社の開拓 ～

- 高度な資産運用を実現している資産運用会社への外部委託を活用していきます。資産運用会社の選定にあたっては、資産運用体制・コンプライアンス体制やトラックレコードなどの観点からデュー・ディリジェンスを行い委託の可否を判断してきました。
- 一方、新興資産運用会社等トラックレコードがない場合についても、運用会社の方針や理念を確認しつつ、運用チームが優秀であると判断できた場合には委託を行ってきた実績があります（累計500億円）。新興資産運用会社は、新たな資産運用分野や運用手法に積極的に取り組んでいるケースもあることから、優秀な資産運用会社を発掘する枠組みを設定して、開拓に取り組めます。
- また、コーポレートベンチャーキャピタルSUMISEI INNOVATION FUNDをはじめとして、ベンチャーキャピタルファンドへの投資に引き続き取り組んでいきます。

### 新興資産運用会社等への投資事例

事例	投資判断の経緯
①国内株式エンゲージメント投資ファンド	✓ 運用会社設立から間もなくトラックレコードは1年に満たなかったが、ファンドマネージャーの前職における運用実績と経験豊富な運用チームを評価し、投資を実行した。
②国内プライベートデットファンド	✓ 社歴が比較的短く新たな戦略での初号ファンドのためトラックレコードはなかったが、ファンドマネージャーの豊富な案件組成実績を評価し、投資を実行した。
③グローバル・マクロ戦略ヘッジファンド	✓ 新設運用会社のためトラックレコードはなかったが、ファンドマネージャーのこれまでの運用経験や過去の投資判断等の定性面を評価し、投資を実行した。
④海外プロジェクトファイナンス・デットファンド	✓ 委託先運用会社においては当該ファンドにトラックレコードはなかったが、ファンドマネージャー等が前職において当該資産への豊富な投資経験を有していたことに加え、案件組成において実績のある金融機関のケイパビリティを活用できるスキームを構築し、投資を実行した。

- お客さまの長期的な資産形成や各世代の自主的な資産形成をサポートすべく、企業にお勤めの皆さまや、将来を担う世代といった多くの方々へ、金融リテラシー向上に資する様々なセミナーをお届けしていきます。

## 企業にお勤めの皆さま

セミナーコンテンツ	セミナーコンテンツ（詳細）
ライフプランセミナー （マネーセミナー）	○生活設計への意欲喚起 ○資産形成への意欲喚起 （お金や税金、社会保険について学ぶ。キャッシュフロー作成）
セカンドライフセミナー	○定年退職後に向けた準備 （定年退職後の社会保険、税金、定年後の家計プラン作成等）
DC投資教育セミナー	○資産形成への意欲喚起 ○投資に関する知識習得 （DC導入後の投資教育。資産形成に必要な基本知識の習得）

## 将来を担う世代

### 大学生を 対象とした 講義

保険に関する知識の普及および理解の促進という観点から、複数の大学で、学生を対象とした講義を実施しています。講義にあたっては当社の商品組成等の各種専門家が教鞭を執り、保険をはじめとする各種金融知識が習得可能な内容となっています。



### 中高生を 対象とした 出前授業

将来世代の子どもたちが社会を生き抜く力を身につけ、将来の夢を描けるよう、また多様な将来の選択肢を持ち、自分らしくウェルビーイングに生きていくことを支えるため、主に中学生・高校生を対象とした金融教育等の「出前授業」を実施しています。

